

はじめに



まずはかゆみを知ろう！

目次へ戻る



かゆみを探点しよう！

目次へ戻る



かゆみをやっつけよう！

目次へ戻る



このページを印刷する (PDF:130KB)

③かゆみをやっつけよう

(1) 強いかゆみがある時の外用療法(ステロイド外用薬やプロトピック軟膏を中心にしましよう)

2. 強いかゆみがある時の注意事項

いつもの搔き傷だけでなく、すごくジュクジュクしていたり、水ぶくれがあつたり、膿がでていたり、いたみがでてきた場合には、細菌やウイルスが感染していることがあります。このような場合には、皮膚炎の治療に加えて感染症の治療が必要です。

すぐに主治医に相談してください。

バリア機能が弱まっていると、皮膚に細菌がつきやすくなります。かゆみが強いときは、1日に2回はシャワーを浴びて、汗やよごれを落としましょう。ただし、石ケンの使用は1日1回だけにしてください。

いつまでもかゆくて夜眠れないとか、ジュクジュクしたがずっと続く場合には、成長障害や蛋白漏出を起こして危険な場合もあります。入院が必要かもしれません。急いで専門医を受診してください。



<<前のページへ

次のページへ>>

厚生労働省科学研究費研究班(平成17~19年度)「アトピー性皮膚炎の症状の制御および治療法の普及に関する研究」作成

Copyright(c)2006 Kyushu University, Graduate School of Medical Sciences, Department of Dermatology. All Rights Reserved.